

『こども食堂通信』NO.2

発行:公益社団法人北海道社会福祉士会 道央地区支部

子ども食堂訪問記②♪「もくきち」編(厚別区)

10月26日(木)、厚別区厚別中央4条4丁目にある「もくきち」を訪問。

6時半過ぎに到着しましたが、25名程の小学生(高学年)の男女が食事を終え、元気よく遊んでいました。この日のメニューは、木の葉丼とお味噌汁、ポテトと人参のサラダ、お漬物。(写真)

大変美味しくいただきましたが、ボリューム満点でおなかいっぱい。木の葉丼って?鶏肉のかわりにかまぼこが入っています。「なるべく費用を抑え、栄養のあるものを」と、知恵を絞っています。鶏肉もちらほら??「ちくわの費用がかかり鶏肉も入れました!」木の葉親子丼ですね!

月によっては、70名位の参加があるときも、食事のメニューなのか理由はわからないようです。

〈多様な役割〉

終了時間の7時が近づくと、徐々にお母さんのお迎えがきて、子どもたちが帰っていきます。お迎えのない子どもはスタッフが送っています。

近くに児童館もありますが、「もくきち」の決まりごとがゆるいからか、「もくきち」に集まるようです。

「もくきち」は、一軒家を改築し、1階が食堂、2階が遊び場、建物は「もくばコミュニティハウス」という名称で、子ども食堂以外にも低額で貸室をしています。キッチンも相談によっては利用できます。

「もくきち」は、住宅改修や運営費等に札幌市の助成金を活用しているため、案内チラシに「札幌市後援事業」と掲載。そのため、小学校や保護者、地域の関係者に安心感が生まれているようです。

また、月に2回、「フリースペースもくきち」を開催しています。「利用者は少ないですが、ゆったりと時間を過ごしてもらえる場にしたいので、宣伝はしていません。」

〈訪問しての感想〉

子どもたちは、帰る時間を惜しんで遊び、みんな楽しそう。でも、子どもたちの毎日はバラ色な日ばかりではなく、悩む日も、おなかが痛くなる日もあるでしょうが、学校とは違った空間でご飯を食べ、遊び、心が少し軽くなったらそれは幸せなこと。「ご飯が食べられる場」が必要な子もいるけど、「君のことを知っているよ」という大人たちが地域にいることも大切なんだと「もくきち」で感じました。

〈最後に〉

札幌市役所は「子ども食堂」を紹介する冊子を今年度中に作成する方針をだしました。

益々、子ども食堂への賛同者、利用者、協力者の和が広がることを願っています。

道央地区支部では、月1回程度、子ども食堂を訪ね、改めて現場から学ぶことから始めようと考えています。その際はご協力ををお願いいたします。この通信は、不定期に発行し、北海道社会福祉士会道央地区支部のホームページにもアップしていますので、ご覧ください。

札幌市後援事業



こどもしょくどう 「もくきちに」 おいでよ!

ごはんを吃るのはもちろん!友達や、自分の住んでいるまちで
「知っている人」を増やそう!こどもも、大人も、おじいちゃんも、
おばあちゃんも、みんなで来てね!まってるよ!

◆ 開催日	6月22日(木)
◆ 時間	夕方5時～7時まで (3時～5時までは、おやつタイムをやってるよ)
◆ 参加費	おやつタイム 50円 夜ごはん こども200円／大人500円 (こどもと一緒に大人は300円)
◆ メニュー	おやつタイム さつまいものパウンドケーキ・寒茶 夜ごはん 中華定食・寒茶 (おかずのエビチリ風、厚揚げ入りのホイコーロー、 中華スープ、ごはんなどなどお楽しみに!)

*アレルギーは自己管理とさせていただきます。



お問い合わせ先
こども食堂「もくきち」 もくばコミュニティハウス
札幌市厚別区厚別中央4条4丁目1-21
(赤い屋根の2階建ての1軒家)
駐車場はありませんので車でのお越しにはご遠慮下さい。
090-5954-6025(携帯) 090-5985-7112(固定)
お気軽にお問い合わせください!



札幌市
さっぽーとほっと基金
助成事業

